

年 譜

和暦 (西暦)	当社の出来事	国内外の出来事
昭和 34 年 (1959)	6.26 有限会社共同測量社を設立、創業者小林義治（水戸市裏南町 370 番地） 8.11 本社を移転（水戸市大坂町 286 番地）	・皇太子明仁親王が正田美智子さまとご結婚
昭和 37 年 (1962)	11.15 測量業者登録（第（1） - 508 号）	・首都高速道路が開業
昭和 38 年 (1963)	8.1 全国測量業協会へ入会 10.15 社屋新築により本社を移転（水戸市千波町 367 番地 7）	・名神高速道路が開業
昭和 41 年 (1966)	5.1 下館出張所を開設（下館市甲（末広町）291 番地）	・文化大革命（中国における社会主義化運動）
昭和 43 年 (1968)	6.30 増資により資本金 200 万円となる 12.20 増資により資本金 300 万円となる	・川端康成がノーベル文学賞を受賞 ・東名高速道路が開業
昭和 44 年 (1969)	5.1 下館出張所を移転（下館市甲（薬師町）76 番地） 6.26 創業 10 周年を迎える	・米国のアポロ 11 号が月面へ着陸
昭和 45 年 (1970)	6. 社員旅行で大阪万博を見学	・アジア初の日本万国博覧会（大阪万博） ・よど号ハイジャック事件（赤軍派）
昭和 46 年 (1971)	6.26 増資により資本金 600 万円となる 10. 取手市、北茨城市で路側 O D 調査を実施（建設省常陸工事事務所発注）	・第二次ベビーブーム到来（団塊ジュニア）
昭和 47 年 (1972)	12.4 増資により資本金 900 万円となる	・あさま山荘事件（日本赤軍） ・米国から沖縄が返還される
昭和 48 年 (1973)	6.26 創業 15 周年記念事業の一環として、社屋の西側に新社屋を建築（鉄骨・鉄筋コンクリート造、地下 1 階付 2 階建） 9.1 社内報創刊 10.1 土浦出張所を開設（土浦市小岩田（霞ヶ岡）1399 番地 3）	・第一次オイルショック（原油価格 4 倍へ値上げ） ・ドバイ日航機ハイジャック事件（日本赤軍）
昭和 49 年 (1974)	6.26 創業 15 周年を迎える 増資により資本金 1,200 万円となる 8. 御前山村（現常陸大宮市）地籍測量を受注（図解法） 10.31 増資により資本金 1,500 万円となる	・旧日本兵小野田寛郎氏がフィリピン山中で発見される ・三菱重工爆破事件（東アジア反日武装戦線）
昭和 50 年 (1975)	4. 本社社屋の警備設備の設置に伴い宿日直制度が廃止される 12. 自動製図機を初めて導入（東京コンピュータコントロールセンター社製） 12.20 増資により資本金 2,000 万円となる	・沖縄国際海洋博覧会（沖縄海洋博）
昭和 51 年 (1976)	5. 阿字ヶ浦において当社で初めて漂砂観測を実施（土木研究所発注）	・ロッキード事件（政財界を巻き込んだ国際的な贈収賄事件）
昭和 52 年 (1977)	10. 北茨城市において路側 O D 調査を実施（建設省常陸工事事務所発注）	・ダッカ日航機ハイジャック事件（日本赤軍）

和暦 (西暦)	当社の出来事	国内外の出来事
昭和 53 年 (1978)	8. 光波測距儀オートレンジャーを導入(米国 K + E 社製) 12. 美野里町(現小美玉市)地籍測量を受注(県内初の数値法)	・第二次オイルショック(イラン革命による原油生産の中断) ・新東京国際空港(成田国際空港)が開港
昭和 54 年 (1979)	6. 記憶装置付き光波測距儀ベクトロンシステムを導入(米国 K + E 社製) 6.26 創業 20 周年を迎える。増資により資本金 2,500 万円となる 7.14 創業 20 周年記念事業として富士登山及びキャンプを実施 11.3 日本武道館で開催された第 12 回全国吟剣詩舞道大会において、東流一門として当社の吟詠部が出場 11.21 共同測量株式会社へ組織変更。増資により資本金 3,000 万円となる 12.1 下館出張所及び土浦出張所を統合し、学園出張所を開設(つくば市千現 2 丁目 4 番 5 号)	・スリーマイル島原子力発電所事故 ・第 5 回先進国首脳会議(東京サミット)
昭和 55 年 (1980)	10. 本社駐車場の拡張工事が竣工	・イラン・イラク戦争が勃発
昭和 56 年 (1981)	8. 台風 15 号により小貝川堤防が決壊し、災害復旧関連の調査・測量を実施	・米国スペースシャトル「コロンビア号」初飛行
昭和 57 年 (1982)	11.1 学園出張所の社屋増築竣工(鉄骨・鉄筋コンクリート造、3 階建)	・日本が世界初のコンパクトディスク(CD)を発売
昭和 58 年 (1983)	12.3 増資により資本金 4,000 万円となる	・東京ディズニーランドが開園 ・大韓航空機がソ連軍機に撃墜される
昭和 59 年 (1984)	12.12 補償コンサルタント業登録(補 59 第 48 号)	・夏の高校野球で取手二校が茨城県勢初の全国優勝
昭和 60 年 (1985)	7. 当社の関連会社(株)アクトの前身となる(株)民芸を設立	・科学の祭典「つくば EXPO85」が研究学園都市で開幕 ・日本航空ボーイング 747 型機が長野県御巢鷹山に墜落(死者 520 名)
昭和 61 年 (1986)	8. 光波測距儀(電子野帳付)及び電算システムを導入	・スペースシャトル・チャレンジャー号爆発(7 名全員死亡) ・ソ連チェルノブイリ原子力発電所事故
平成元年 (1989)	6.26 創業 30 周年を迎える。記念事業として初の海外旅行(香港・九龍)を実施	・昭和天皇が崩御され、新元号「平成」となる ・6 月 3 日が「測量の日」に制定される
平成 2 年 (1990)	4. 週休 2 日制(隔週)を試行 11. 学園出張所に自動製図機を導入	
平成 3 年 (1991)	7.30 本社社屋増改築竣工(敷地面積 2,647.99 m ² 、地下 1 階付 3 階建、鉄骨造、陸屋根、延床面積 1,377.44 m ²)	・湾岸戦争が勃発 ・長崎の雲仙普賢岳で火砕流(死者・行方不明者 43 名)
平成 4 年 (1992)	3.21 代表取締役小林義治の死去に伴い埴一郎が代表取締役就任	

和暦 (西暦)	当社の出来事	国内外の出来事
平成 5 年 (1993)	8.15 学園出張所の社屋増築及び敷地拡張工事が竣工(延床面積 208㎡、敷地面積 978㎡)	・日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)が開幕
平成 6 年 (1994)	6.26 創業 35 周年を迎える。記念事業として海外旅行(韓国)を実施 7. (株)民芸から(株)アクトに社名変更	・松本サリン事件が発生(長野県松本市)
平成 8 年 (1996)	9. GPS 測量機導入(4台)	
平成 10 年 (1998)	6. 学園出張所を学園営業所に名称変更	・長野冬季オリンピック開幕
平成 11 年 (1999)	6.26 創業 40 周年を迎える。記念式典をいこいの村潤沼、記念事業として植樹や海外旅行(台湾)を実施	・東海村 JOC で臨界事故が発生
平成 12 年 (2000)	2. 創業 40 周年記念プレートを水戸市国際交流センターに設置 12.1 ISO9001 認証取得	・シドニーオリンピック開幕
平成 13 年 (2001)	10.26 代表取締役塚一郎の退任に伴い原田紀道が代表取締役就任	・米国同時多発テロ発生(日本人 24 人を含む 3,000 人以上が死亡)
平成 16 年 (2004)	6.26 創業 45 周年を迎える。記念事業として海外旅行(韓国)を実施 8.14 増資により資本金 6,000 万円となる	・日朝首脳会談により日本人拉致被害者が帰国 ・アテネオリンピック開幕
平成 18 年 (2006)	10.1 県北営業所を開設(常陸太田市下高倉町)	・侍ジャパンが第 1 回ベースボールクラシック(WBC)で優勝
平成 19 年 (2007)	2.26 かすみがうら営業所を開設(かすみがうら市西成井) 5.23 建設コンサルタント業登録(建 19 第 7504 号)	・米国リーマンブラザーズの破綻による続発的な世界金融危機が発生(リーマンショック)
平成 20 年 (2008)	7.26 代表取締役原田紀道の死去に伴い吉原清寿が代表取締役就任	・洞爺湖サミット開催
平成 21 年 (2009)	6.26 創業 50 周年を迎える。記念式典及び祝賀会を開催	・裁判員制度はじまる
平成 22 年 (2010)	6.28 那珂営業所を開設(那珂市戸) 7.6 県北営業所を移転して常陸太田営業所に名称変更	・小惑星探査機「はやぶさ」が帰還 ・尖閣諸島中国漁船衝突事件(海上保安庁と中国漁船の衝突)
平成 23 年 (2011)	10. 東日本大震災により被災した本社外壁等の補修工事が完了	・東日本大震災(M9.0 死者・行方不明者 18,000 人超)
平成 26 年 (2014)	1.23 石岡営業所を開設(石岡市真家) 6.26 創業 55 周年を迎える。記念式典及び祝賀会を実施	・天野浩・赤崎勇・中村修二が青色 LED でノーベル物理学賞を受賞 ・消費税が 8%となる
平成 27 年 (2015)	4.1 社内報が通巻第 500 号に到達し、記念誌を発刊	・パリ同時多発テロ事件(イスラム国によるフランスでのテロ)
平成 31 年 (2019)	3.31 学園及び石岡営業所を閉設 4.1 笠間営業所を開設 6.26 創業 60 周年を迎える。記念式典及び祝賀会、旅行(北海道 2 泊 3 日)を実施	・今上天皇の譲位により平成が幕を閉じ、新元号「令和」となる